

# 元気・お役立ち便り

随時発行 〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田 92-10 大島健作

**【はじめに】** この便りは私が今までに出会った方、これから出会う方、お知り合い、地域の方にお渡しして、何かのお役立ちになることを願って作りました。文章が主体でデザイン性はありません。お時間のある時に読んで頂きますと大変に喜びます。どうぞ宜しくお願いします。

**【元気の意味とは何ですか？】**と問われると、健康や勢いなどが浮かびますが、7年前にある方から「元」は神様のような天地創造の存在で、その方の意志が「気」だと教えてもらいました。つまり「元気」は使命や志などの奥深い意味があると知り驚きました。そんなことも知らず、平成18年から毎日「元気便り」というブログを書いています。元気の意味を胸にしっかり刻んで日々を過ごしたいと思う今日この頃です。

**【お役立ち】**は日本特有の美しくて尊い言葉です。人に世の中に何かの役に立つと気持ちが良くなり幸せ感に浸り、自信や希望や勇気や自分は自分でいいんだという自己肯定感も生まれます。多くの企業や会社やお店がこのお役立ちを指針にしておられるのではないかと推測します。

そんな情報を耳にしたのか分かりませんが、9年前に「お役立ち屋」という名前を作りました。屋は酒屋や米屋など昔から使われ、今もなお、この言葉が残っています。屋には愛着を感じます。そうしたことから、「お役立ち屋」となったのですが、商標などは取得していないので、宜しかったらお使い下さい。広告・ニュースレター・名刺等に書かれたら面白いと思います。代表の代わりに「お役立ち屋」いかがでしょうか。

そんな「元気」と「お役立ち」はお互いに関連（リンク）して、良い影響を相互に与え合って、良き物が生まれるのではないかと考えました。心身とも元気ならお役立ちも出来るし、何かのお役に立つことをすると、元気になれるのではと思いました。

## 【元気・お役立ちの構想】 ～構想が現実～

### ① 元気・お役立ちプロジェクト

第一弾として、お店会社を元気にする会社（仮称）を作り、情報発信のお役立ちをしたいです。中枢となるのがニュースレターとコンパクト(小型)でダイジェスト(要約)が特長のホームページ簡易版のネットレターです。制作費が5500円と超激安で、令和6年9月にスタートしました。詳しくはサイトをご覧ください。プロジェクトは今後続きます。



### ② 「元気・お役立ちサポートセンター」の設立

- ・ 困りごと相談、悩み解決
- ・ シニアの方と若者（学生さんや生徒さん含む）の交流と学びの場
- ・ 催し事やイベント、セミナー、勉強会、情報交換会などの活用
- ・ 仲間作り、いきがい作り、楽しみ作り、事業発展のサポート 他
- ・ お店会社を元気にする会社の拠点

③ 「お役立ちレター」激安でお店や会社の特長・取組み・商品などを地域の皆様にお知らせする仕組で、全国に広げたいと意気込んでいます。ハガキ片面モノクロ48文字、詳しくは研究会サイトの情報館にて。

## 【お役立ちカード】（夢バージョン幸せバージョン各1枚で100円です）

夢バージョン 「夢が実現する可能性があるからこそ、人生はおもしろい」 他

幸せバージョン 「幸せとは、なるものではなく、感じるもの。たくさんの幸せを感じる習慣で人生が変わる」 他

詳しくはおひさまショップのサイトをご覧ください。

**【様々なチャレンジをして全国に広めたい】** 元気便り 7月14日～17日

「元気・お役立ちサポートセンター」は全国どの地域にもある諸課題を解決する「アンテナショップ」にしたら面白いと思いました。全ての課題に対応できる訳ではありませんが、下記のようなことを考えました。

- ・空き店舗を活用して商店街の活性化にお役立ち。
  - ・シニア層の就活と生きがい作りにお役立ち。
  - ・若者（学生・生徒含む）の能力開発・夢発見にお役立ち。
  - ・ワンコインお役立ちセミナーで全ての人にお役立ち。（リモートでも）
- アンテナショップは消費者の反応やトレンドを探るための直営店舗で、様々なチャレンジをして全国に広めたいと意気込む今日この頃です。

**【夢を達成する方法】**の1つに夢を書いてみる、唱えてみる、というのがあります。私は毎朝ワンコの散歩の時に「〇〇ができてありがとうございます」と唱えています。〇〇はたくさんあり、唱えると達成できたという良い意味での勘違いになります。もしも夢が達成できたら、どんなに素晴らしいなあと思う今日この頃です。なお、私が毎日書いている元気便りの最後はこの言葉でして、3つのサイトに載せています。

**【ニュースレターとは何？】**広い意味では新聞や地域・学校からのお知らせもニュースレターです。一度お客様になられた方を固定客（ファン）にするための1つの方法で、売込の極めて少ない「ひとり新聞」とも呼ばれています。お店や会社の発展だけでなく全ての人のコミュニケーションにも役立つと思います。

**【まずは身近な家庭・地域・職場などでお役立ち】**の意識を持つと、何かが変わるかもしれないと考えました。日々の生活で日常していることを「当たり前」から「お役立ち」に替えてみるのです。朝起きてトイレに行くことも、ご飯を食べることも、すべての毎日の出来事をお役立ちと捉えると心が元気になるかもしれません。

【大島健作の自己紹介（ハガキ名刺）】 令和6年11月1日現在

私の展望の1つは、ハガキ名刺を有効活用することでお店や会社や個人がより元気に良くなるのが認められて、全国各地で多くの方が積極的に実践されその効果などを情報共有する勉強会も生まれる**お役立ち展開**です。

ハガキ名刺は私が作った言葉です。通常の名刺に比較してハガキは紙面が広く、プロフィール他様々な情報を入れることにより、相手の方と親しくなれる効果などが得られます。詳しくは研究会サイトにて。

「大島健作 ミニプロフィール」昭和28年生まれ71歳。前職の建材店で多くの情報誌や冊子を発行。店消失後はフリーターとなり様々な職業を経験中で、「お金をかけずに自分で作るニュースレター」で、**お店や会社が発展するお手伝い**をしたいと意気込んでいます。現在はゴルフ練習場とコンビニで働いています。

【あとがき】・長女が10月に**出雲**に嫁ぎ、披露宴で新郎新婦が参列者の皆様お1人お1人にお手紙を渡して感じて感心しました。心のこもったレターはいいですね。私もデジタルとアナログの二刀流で頑張りたいです。

・この便りは私の今後の展望も載せているニュースレターで、夢や志が実現する1つの手法を実証したいと願う今日この頃です。

元気ニュースレター 研究会

お役立ち屋

題字 しもやん（下川浩二氏）

発行者 大島健作

kensaku.ohshima@gmail.com

令和6年11月1日発行 699-1221 雲南市大東町飯田92-10

携帯 090-8996-0850

元気ニュースレター研究会

幸せを呼ぶおひさまショップ



（この便りはコピー自由で、研究会サイトの情報館から印刷もできます。）